

Screening Schedule

2月 チケット発売日 1.10 (土)	3 (火)	10:30 教皇選挙 (120分)	14:00 エドガルド・モルターラ (134分)
	4 (水)		14:00 教皇選挙 (120分)
	5 (木)		14:00 エドガルド・モルターラ (134分)
	6 (金)		14:00 教皇選挙 (120分)
	7 (土)	10:30 エドガルド・モルターラ (134分)	14:00 トーキイベント「ストレンジラブな映画の話」*1
	8 (日)	10:30 教皇選挙 (120分)	14:00 エドガルド・モルターラ (134分)
	10 (火)	10:30 切腹 (134分)	14:00 白と黒 (113分)
	11 (水・祝)	10:30 他人の顔 (122分)	14:00 切腹 (134分)
チケット発売日 1.10 (土)	12 (木)	10:30 白と黒 (113分)	14:00 他人の顔 (122分)
	13 (金)	10:30 切腹 (134分)	14:00 白と黒 (113分)
	14 (土)	10:30 切腹 (134分)	14:00 他人の顔 (122分)
	15 (日)	10:30 白と黒 (113分)	14:00 切腹 (134分)
	17 (火)		14:00 ガタカ (106分)
	18 (水)		14:00 ダーク・ウォーターズ (126分)
	19 (木)		14:00 ガタカ (106分)
	20 (金)		14:00 ダーク・ウォーターズ (126分)
チケット発売日 1.10 (土)	21 (土)	10:30 ダーク・ウォーターズ (126分)	14:00 ガタカ (106分)
	22 (日)	10:30 ガタカ (106分)	14:00 ダーク・ウォーターズ (126分) + 上映解説
	3 (火)		14:00 キャット・ビープル (73分)
	4 (水)		14:00 マルホランド・ドライブ (146分)
	5 (木)		14:00 キャット・ビープル (73分)
	6 (金)		14:00 マルホランド・ドライブ (146分)
	7 (土)	10:30 マルホランド・ドライブ (146分)	14:00 キャット・ビープル (73分) + 上映解説
	8 (日)	10:30 キャット・ビープル (73分)	14:00 マルホランド・ドライブ (146分)
チケット発売日 2.14 (土)	13 (金)	10:30 見はらし世代 (115分)	14:00 奇跡 (126分)
	14 (土)	10:30 奇跡 (126分)	14:00 見はらし世代 (115分) + アフタートーク *2
	15 (日)	10:30 奇跡 (126分)	14:00 見はらし世代 (115分)
	17 (火)	10:30 探偵〈スルース〉 (138分)	14:00 氷の微笑 (128分)
	18 (水)	10:30 聖なる鹿殺し (121分)	14:00 探偵〈スルース〉 (138分)
	19 (木)	10:30 氷の微笑 (128分)	14:00 聖なる鹿殺し (121分)
	20 (金・祝)	10:30 探偵〈スルース〉 (138分)	14:00 氷の微笑 (128分)
	21 (土)	10:30 聖なる鹿殺し (121分)	13:30 【特別上映】探偵〈スルース〉 (138分) + トーキイベント *3
チケット発売日 2.14 (土)	22 (日)	10:30 氷の微笑 (128分)	14:00 聖なる鹿殺し (121分)

* 1 ゲスト: 平山夢明さん (ホラー作家) × 小野里徹さん (ポスタークリエーター)

* 2 ゲスト: 団塲唯我さん (映画監督)

* 3 ゲスト: 須藤健太郎さん (映画批評家) × 上條葉月さん (字幕翻訳者・文筆家)

ギャラリートーク / 上映解説

展示 / 上映の見どころについて学芸員が解説します。(要企画展観覧料)

ギャラリートーク: 2.19 (木) / 3.8 (日) 各日 13:00 ~

* ギャラリートーク後に、旧和辻彌見学ツアー(希望者のみ)を行います。(約10分)

上映解説:

2.22 (日)『ダーク・ウォーターズ』上映後

3.7 (土)『キャット・ビープル』上映後

午後の回上映後(約40分)



Kamakura City Kawakita Film Museum
鎌倉市川喜多映画記念館

〒248-000 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-2-12

0467-23-2500

開館時間: 9:00~17:00 (入館は 16:30まで)

休館: 月曜日 (2月23日は開館)、2月24日 (火)

主催: 川喜多・KBS グループ (鎌倉市川喜多映画記念館指定管理者)

※駐車設備がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

※席数、入館時間等は状況により変更する場合がございます。

詳しくはお問合せください。

<https://kamakura-kawakita.org>



特別展

サスペンス・ミステリー映画の奇しい世界

2025年11月30日 (日) ~ 2026年3月29日 (日)

特別展観覧料 一般: 500円 (350円)

小・中学生: 250円 (170円)

* () 内は 20名以上の団体料金

鎌倉市川喜多映画記念館 上映スケジュール

2026年

2-3月



© 2024 Conclave Distribution, LLC.

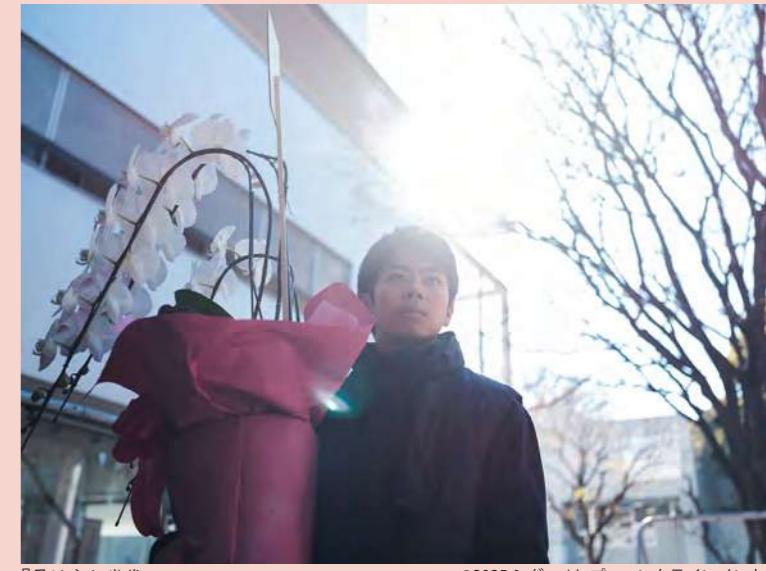
サスペンス・ミステリー映画の
奇しい世界

教皇選挙

- エドガルド・モルターラ ある少年の数奇な運命
- ガタカ
- ダーク・ウォーターズ 巨大企業が恐れた男
- キャット・ビープル
- マルホランド・ドライブ
- 探偵〈スルース〉
- 氷の微笑
- 聖なる鹿殺し

次世代シネマセレクション

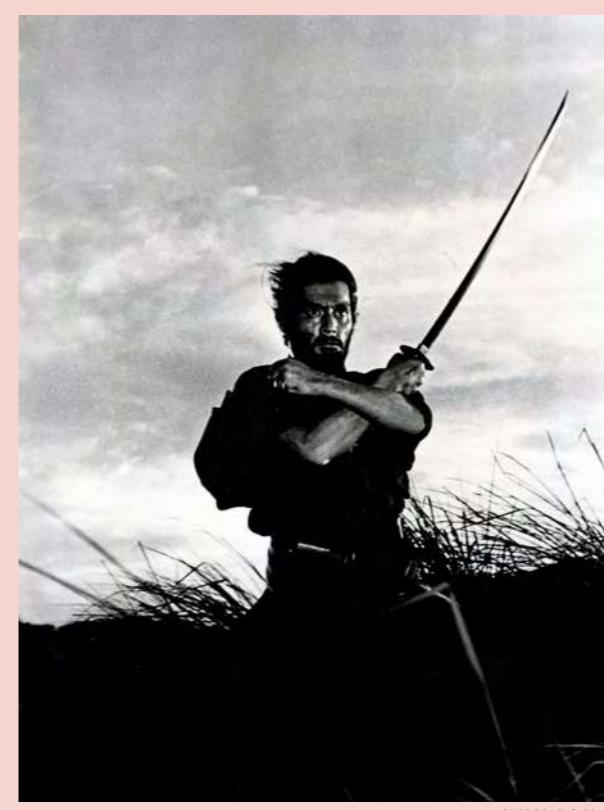
見はらし世代
奇跡



© 2025 シグロ / レプロエンタテインメント

俳優 仲代達矢

切腹
白と黒
他人の顔



©1962 松竹株式会社

『切腹』

特別展関連上映 サスペンス・ミステリー映画の奇しい世界

観客の心を惹きつけるサスペンス・ミステリー映画には、先人たちの編み出した巧みな演出上の工夫や効果を高めるための叡智が込められています。不安な状態がもたらすスリルを味わうサスペンス映画と、謎解きの過程を楽しむミステリー映画、重なり合うことが多いこの2つのジャンルは、より複合化した現代映画において、様々な料理に溶け込むスパイスのように効果を発揮しています。本展では両ジャンルの古典から近作までを取り上げ、その魅力に迫ります。スリルと謎に満ちた展開で私たちを楽しませ、魅了してきたサスペンス・ミステリー映画の〈奇しい世界〉をご堪能ください。

チケット販売開始日
1~4 : 1月10日(土)
5~9 : 2月14日(土)

映画鑑賞料金
一般 1,300円 小・中学生: 650円
特別上映 一般 1,900円 小・中学生: 950円
*(展示観覧料を含む)



教皇選挙

2.3(火)、8(日) 10:30
2.4(水)、6(金) 14:00

2024年/アメリカ=イギリス/カラー/120分
/DCP 監督: エドワード・ベルガー 原作: ロバート・ハリス 出演: レイフ・ファインズ、スタンリー・トゥッチャ、イザベラ・ロッセリーニ

ローマ教皇の死去に伴って行われるコンクランベー(教皇選挙)。秘密のベールに覆われた礼拝堂で、疑惑と野望の渦巻く選挙戦の舞台裏を描く。個性豊かな俳優陣の競演が緊迫感を高め、密室サスペンスの名作『十二人の怒れる男』を彷彿とさせます。



エドガルド・モルターラ

ある少年の奇跡
2.7(土) 10:30
2.3(火)、5(木)、8(日) 14:00

2023年/イタリア=フランス=ドイツ/カラー/134分/DCP 監督: マルコ・ベロッキオ 出演: パオロ・ピエロボン、ファウスト・ルッソ・アレジ、バルバラ・ロンキ

1858年、ボローニャのユダヤ人街で教皇領の警察に少年が連れ去られた。両親は返還を求めて奔走するが、ローマ教皇側は頑なに応じない。名匠ベロッキオが「エドガルド・モルターラ誘拐事件」という世界で大論争を巻き起こした出来事の真相に迫るサスペンス。



ガタカ

2.22(日) 10:30
2.17(火)、19(木)、21(土) 14:00

1997年/アメリカ/カラー/106分/Blu-ray
監督: アンドリュー・ニコル 出演: イーサン・ホーク、ユマ・サーマン、ジュード・ロウ、アラン・アーキン

遺伝子操作で生まれた“適正者”だけが優遇される近未来的な管理社会で、“不適正者”的烙印を押された青年に待ち受けける運命を描いたSFサスペンスの不朽の名作。超エリート社会の中で正体を隠し、困難に立ち向かう主人公をイーサン・ホークが熱演。



ダーク・ウォーターズ

巨大企業が恐れた男
2.21(土) 10:30
2.18(水)、20(金)、22(日) 14:00

2019年/アメリカ/カラー/126分/DCP
監督: トッド・ヘインズ 出演: マーク・ラファロ、アン・ハサウェイ、ティム・ロビンス、ビル・キャンプ

環境汚染の実態を隠蔽していた巨大企業に無謀とも思える闘いを挑んだ、ひとりの弁護士の実話に基づく法廷サスペンス。主演のマーク・ラファロは環境活動家という一面を持ち、ニューヨーク・タイムズ紙に掲載された記事に触発されて本作の製作に至った。



キャット・ピープル

3.8(日) 10:30
3.3(火)、5(木)、7(土) 14:00

1942年/アメリカ/白黒/73分/DVD
監督: ジャック・ターナー 出演: シモーヌ・シモン、ケント・スミス、ジェーン・ランドルフ、トム・コンウェイ

RKO製作の怪奇映画。主人公は自分が猫族の末裔であると信じ、興奮すると黒豹に変身して人を殺してしまうのではないかと恐れている。間に紛れた黒豹が見えないことで生じる視覚的サスペンスを巧みに活用した本作は、低予算ながら異例のヒット作となった。



マルホランド・ドライブ

4Kレストア版
3.7(土) 10:30
3.4(水)、6(金)、8(日) 14:00

2001年/アメリカ=フランス/カラー/146分
/Blu-ray 監督: デヴィッド・リンチ 出演: オリヴィア・ワット、ローラ・ハーリング、アン・ミラー、ジャスティン・セロー

女優を志願してハリウッドにやってきたベティと、車の事故現場から逃れてきた「リタ」と名乗る謎の女性が繰り広げる夢幻的な物語。ビリー・ワイルダーの名作『サンセット大道通り』と同様、ハリウッドの栄光の影に潜むダークサイドを描いています。



探偵 〈スルース〉

3.17(火)、20(金)、3.21(土) 10:30
[特別上映] 3.21(土) 13:30
3.18(水) 14:00

1972年/アメリカ=イギリス/カラー/138分
/Blu-ray 監督: ジョセフ・L・マンキーウィツ
原作: 脚本: アンソニー・シェイファー
出演: ローレンス・オリヴィエ、マイケル・ケイン

高名な推理作家が妻の浮気相手に復讐をするため、私邸に招いて醉狂な心理ゲームを仕掛け。熾烈な頭脳戦と巧妙な作劇、ドンデン返しの連続で大ヒットした舞台劇の映画化で、イギリスを代表する名優ふたりが丁々発止の騙し合いで火花を散らす。



氷の微笑

4Kレストア版
3.19(木)、22(日) 10:30
3.17(火) 20(金) 14:00

1992年/アメリカ/カラー/128分/DCP
監督: ポール・ヴァーハーヴェン 出演: マイケル・ダグラス、シャロン・ストーン、ジーン・トリブルホーン、ドロシー・マローン

事件を捜査する刑事が容疑者の妖しい魅力に翻弄される姿を描く。サンフランシスコを舞台にしたサスペンスで、ヴァーハーヴェン監督はヒッチコックの『めまい』をモチーフに、シャロン・ストーンを強烈な『ファム・ファタール』に仕立て上げた。



聖なる鹿殺し

PG12+
3.18(水)、21(土) 10:30
3.19(木)、22(日) 14:00

2017年/アイルランド=イギリス/カラー/121分/DCP
監督: ヨルゴス・ランティモス
出演: コリン・ファレル、ニコール・キッドマン、パリー・キョーガン

カンヌ映画祭の脚本賞に輝いた不条理スリラーで、タイトルはギリシャ悲劇「アウリスのイビゲネイア」に由来。主人公の幸せな家庭が、ひとりの少年を迎えたことで次々と奇妙な事態に見舞われ、追いつめられてゆく姿を息詠まるタッチで描く。



見はらし世代

3.13(金) 10:30
3.14(土) +アフタートーク 15(日) 14:00

2025年/シグロ/カラー/115分/DCP
監督: フィリップ・ラムゼー 出演: 黒崎煌代、遠藤恵一、井川遥、木竜麻生、菊池亜希子、中村蒼、中山慎悟、吉岡睦雄、薛鈺淳

舞台は再開発が進む東京・渋谷。主人公・蓮は、母の死後疎遠になった父との再会を機に家族の関係性を見つめ直す。無関心の姉を巻き込み、ようやく果たされた家族三人の再会は思いもよらない展開を迎える。登場人物と呼応するように変わりゆく渋谷の街もまた主役の新感覚なホームドラマ。



奇跡

3.14(土) 10:30
3.13(金) 14:00

1954年/デンマーク/白黒/126分/DCP
監督: カール・オドア・ドライヤー
出演: ヘンリック・マルベア、エーミール・ハス、クリスティンセン、ビアギッテ・フェザースビル

信仰心の厚い父親、信仰心のない長男、自らをキリストと信じる精神的に不安定な次男、宗派の違いから父と対立する仕立屋の娘との結婚を望む三男。危ういバランスで成り立っている家族の関係性に、長男の妻の死が大きな影響を与える。巨匠ドライヤーの最高傑作と名高い、家族の対話と信仰がもたらす「奇跡」の物語。



3.14(土) 14:00

1998年生まれ、東京都出身。慶應義塾大学環境情報学部在籍。映画美学校修了。在学中は万田邦敏や脚本家の宇治田隆史より教えを受ける。同校修了作品として制作した短編『愛をたむけるよ』が、なら国際映画祭、札幌国際短編映画祭、TAMA NEW WAVE等の映画祭で入選、受賞。2022年、若手映画作家育成事業ndjcにて、短編『遠くへいきたいわ』を脚本・監督(制作:シグロ)、第36回高崎映画祭等に招待。本作品『見はらし世代』が初長編となる。

俳優 仲代達矢

鋭い眼光と卓越した演技力で、黒澤明や小林正樹、岡本喜八をはじめ巨匠たちに出演を熱望された名優・仲代達矢(1932-2025)。アクの強い役から眞面目で温厚篤実な男、屈折したキャラクターまで、どんな役柄も見事に演じ分け、生涯現役で役者人生をまっとうしました。氏の功績を偲び、3作品を上映いたします。



A



B



C

他人の顔

2.11(水・祝) 10:30
2.12(木)、14(土) 14:00

1966年/東京映画=勅使河原プロダクション/白黒/122分/35mm
監督: 堀川弘通 脚本: 橋本忍 音楽: 武満徹
共演: 三國連太郎、石浜朗、岩下志麻、丹波哲郎、三島雅夫、稻葉義男

勅使河原宏監督が『おとし穴』『砂の女』に続き、安部公房の不条理劇を映画化。顔に大げさを負った男が周囲との対人関係で疑心暗鬼に陥り、医者に精巧な仮面を作らせる。『他人の顔』を手に入れた男が妻を誘惑するという倒錯的な物語。仲代がこの難役に挑み、見事に演じきっている。

次世代シネマセレクション

毎年開催している次世代シネマセレクション。これからの時代を担う気鋭の若手監督の作品をご紹介しています。今回は、昨年のカンヌ国際映画祭の監督週間に日本人史上年少で選出された団塚唯我監督の『見はらし世代』を上映します。また、影響を受けた作品として団塚監督に選んでいただいた『奇跡』をあわせて上映します。



D



E



F

プロフィール

1998年生まれ、東京都出身。慶應義塾大学環境情報学部在籍。映画美学校修了。在学中は万田邦敏や脚本家の宇治田隆史より教えを受ける。同校修了作品として制作した短編『愛をたむけるよ』が、なら国際映画祭、札幌国際短編映画祭、TAMA NEW WAVE等の映画祭で入選、受賞。2022年、若手映画作家育成事業ndjcにて、短編『遠くへいきたいわ』を脚本・監督(制作:シグロ)、第36回高崎映画祭等に招待。本作品『見はらし世代』が初長編となる。

チケット販売場所 鎌倉市川喜多映画記念館窓口 0467-23-2500

*友の会会員の方は、電話予約が可能です。

チケット販売開始日

1月10日(土)

映画鑑賞料金

一般 1,300円

小・中学生: 650円

(展示観覧料を含む)